

2014  
4  
NO.354

# 調査ニュース

## 今月の注目点

### ～冬のイベント、国内客が伸び悩むなか海外客が下支え～

1月下旬から2月中旬にかけ、北海道を代表する冬のイベントが各地で開催されました。主要イベントの来場者数は、首都圏などの降雪（航空便欠航）に伴い、国内客が伸び悩む中、春節休暇期間とも一部重なったことからアジア客を中心とした海外客が下支えし、概ね前年を上回りました。道内各観光関連施設では海外客需要を取り込もうと、多言語対応（パンフレットや接客）やインターネット利用環境（Wi-Fi設置）を充実させたほか、イスラム教の簡易礼拝所設置（大通公園にある観光案内所内）、海外客向けの特典（一部ホテル。提携先施設での飲食料金割引や土産品の提供）など、海外客の満足度向上に向けた取り組みがみられました。

#### 2014年道内で開催された主な冬のイベント

イベント	第65回さっぽろ雪まつり	2014千歳・支笏湖氷濤まつり	第16回小樽雪あかりの路	第55回旭川冬まつり
来場者数	240.2万人	23.0万人	49.8万人	87.6万人
前年比伸び率	1.5%増	▲4.2%	0.2%増	0.6%増
期間	2/5～11	1/24～2/16	2/7～16	2/6～11
主催	さっぽろ雪まつり実行委員会	支笏湖まつり実行委員会	小樽雪あかりの路実行委員会	旭川冬まつり実行委員会

（資料）各団体の発表資料等をもとに道銀地域総合研究所作成

最近の道内経済産業動向	2
トピックス	3
●本道の中核を担う札幌市の将来ビジョンとは ～札幌市まちづくり戦略ビジョン（2013～2022年度）を読み解く～	
地域トピックス	6
●「 <sup>コメ</sup> 「米-1グランプリinらんこし」開催で“米のまち”を活性化 ～蘭越町～	
フォーカス	7
●2014年度の主な予定から	
海外の窓 ～道銀 ユジノサハリンスク駐在員事務所だより～	8
●ソチ五輪を契機に魅力ある地域づくりへ	



## 最近の道内経済産業動向

足元の道内景気は、住宅建築が弱含んでいるものの、個人消費で消費税増税前の駆け込み需要が見られるほか、観光入込客の好調さ、公共工事の持ち直し基調持続などから、全体としては回復に向けた動きとなっている。先行きは、消費税増税に伴う駆け込み需要のはく落により、4月以降夏場頃までは反動減が予想される。

### 個人消費は持ち直し基調にある

1月の大型小売店販売額（全店）は、前年比2.3%増と6カ月連続で前年実績を上回った（百貨店：同1.6%増、スーパー：同2.5%増）。海外客による購入増に加え、消費税増税前の駆け込み要因もあり、高額商品（貴金属・宝飾品、海外ブランド品等）や家具などが引き続き好調。1月の乗用車新車販売台数（含む軽）は、同38.1%増と消費税増税前の駆け込みを主因に前年実績を大きく上回った。

### 住宅建築は弱含んでいる、公共工事は持ち直し基調にある

新設住宅着工戸数（1月）は、前年比10.0%（1,266戸）と2カ月ぶりに前年実績を下回った。消費税増税前の駆け込み着工一段落等により、持家（同12.2%）、貸家（同7.7%）、分譲住宅（同6.1%）が揃って減少。設備投資は、小売業や製造業などで持ち直し基調にある。公共工事請負金額（1月）は、同19.3%と9カ月ぶりに前年割れ。ただし、4-1月累計では前年同期比21.7%増となっており、工事進捗ペースでは高水準、かつ、持ち直し基調を維持。生産は緩やかに持ち直している

鉱工業生産（1月）は、前月比2.9%上昇（2カ月連続で上昇）。スマートフォン新モデルの生産が一服した電気機械（同7.6%）などが低下。半面、北米向け自動車駆動伝導装置が好調な輸送機械（同21.3%上昇）、橋りょうが増産となった金属製品（同18.8%上昇）、建設向け需要が好調な窯業・土石（同9.1%上昇）などが上昇した。

### 輸出は拡大している

通関輸出額（1月）は、前年比0.9%と1年2カ月ぶりに前年割れ。ただし拡大基調は維持しており、4-1月累計では前年同期比16.6%増。石油製品、船舶が大きく減少したものの、北米向けが好調な自動車部分品などが下支えした。

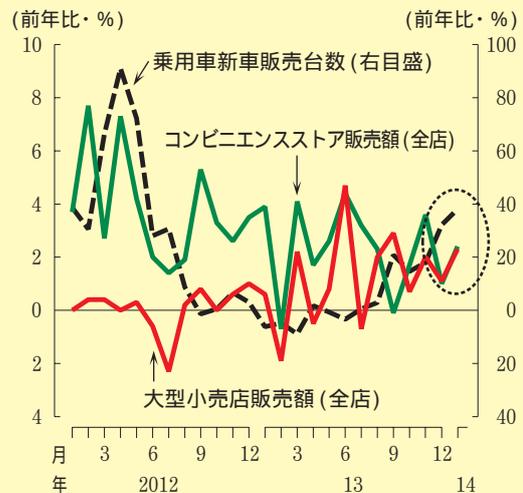
### 観光は回復している

国内客が中心となる来道者数（1月）は、前年比8.6%増と23カ月連続で前年を上回った。また、1月の外国人入国者数（速報値）は、同50.7%増と12カ月連続で増加。なお2月は、首都圏を始めとした降雪の影響（航空便欠航）で国内客が伸び悩んだものの海外客が下支えした模様。雇用情勢は持ち直しのテンポが高まっている

1月の有効求人倍率（パート含む常用）は、前年比0.18ポイント上昇の0.79倍と48カ月連続で前年実績を上回った。新規求人数（同）は前年比16.7%増。

個人消費関連指標の推移

個人消費関連指標は、消費税増税前の駆け込み需要などを背景に、前年を上回る推移となっている。



(出所) 北海道経済産業局、(一社) 日本自動車販売協会連合会

## 本道の中核を担う札幌市の将来ビジョンとは ～ 札幌市まちづくり戦略ビジョン (2013～2022年度) を読み解く ～

昨年10月、本道の中心都市である札幌市では、今後10年間のまちづくり総合計画（札幌市まちづくり戦略ビジョン）を策定しました。本稿では、他の道内自治体同様、人口減少や少子高齢化の急速な進展が見込まれる札幌市の将来ビジョンを解説するとともに、社会情勢の変化による影響など、地域の住民・企業が着目すべき観点について考察いたします。

### 1. 札幌市まちづくり戦略ビジョンの概要

札幌市まちづくり戦略ビジョン（以下、同ビジョン）とは、札幌市のまちづくりに関する各種計画の中で、最上位に位置づけられる“総合計画”です。計画期間は2013年度からの10年間となっており、札幌市の各種計画は、同ビジョンの基本方針に沿って策定されます。

同ビジョン策定には、2015年をピークに市内総人口が減少に転じ、高齢者及び高齢単身世帯が急増する一方で、働き盛り世代となる15 - 64歳人口（生産年齢人口）が急激に減少するといった構造的変化が背景にあります（図表1）。なぜなら、既に生産年齢人口の減少とともに経済規模も縮小傾向にあるという相関関係が認められるからです（図表2）。

また、将来的に原発依存度の引き下げを求める市民のニーズが高いというアンケート調査結果も、エネルギー政策の転換が必要に迫られているという点で、同ビジョン策定の背景の一つとなりました。

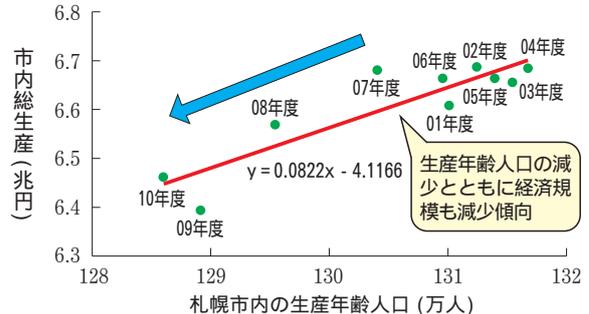
そこで同ビジョンでは、社会情勢や市民ニーズの変化をふまえ、今までの価値観を転換し、「北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち」「互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち」という都市像を目指す方針としました。その上で、「暮らし・コミュニティ」「産業・活力」「低炭素社会・エネルギー転換」という3つの重点テーマを設定するとともに、効果的に推進するための都市空間整備を同時に進めていくことも、計画に盛り込まれました（図表3）。

図表1 市内総人口の予測値



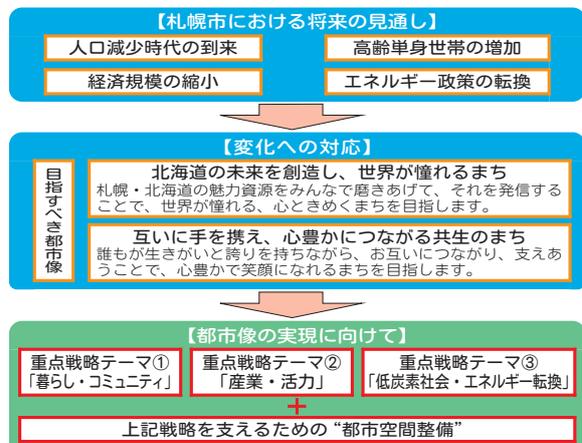
(注) 05、10年は国勢調査による実績値。15年以降は札幌市の推計値。  
(出所) 総務省「国勢調査」、札幌市

図表2 生産年齢人口と実質市内総生産の関係



(注) 生産年齢人口は、各年10月1日現在の住民基本台帳人口を採用。  
(出所) 札幌市

図表3 札幌市まちづくり戦略ビジョンの概要



(出所) 札幌市「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を基に道銀地域総合研究所作成

2. 札幌市まちづくり戦略ビジョンの特徴  
同ビジョンの特徴は、以下の2点に整理できると考えられます。

まず、挙げられるのが、「北海道の中核都市である札幌市としての役割を強く意識した将来ビジョンである」という点です。札幌市が有する資源である“食”“豊かな自然”などは、北海道全体の魅力・資源そのものです。そこで、札幌市が持つ都市機能やブランド力を活用し、札幌市から国内外へ道産食品や観光に関わる情報発信を行うことで、道外需要を取り込み、道内の経済循環を高めていくべきという内容が、同ビジョンでは謳われています。

具体的には、同ビジョンの重点テーマ毎に定められている創造戦略の一つである「札幌型産業創造戦略」において、“食”“観光”といった北海道の魅力・資源を生かした産業力強化の方針が示されています(図表4)。また、「都市ブランド創造戦略」では、道内の経済循環を高め、道外需要を取り込む手法と基盤をつくるために、国内外の活力を取り込むための環境整備を実施する旨が示されました。

他の政令指定都市をみましても、周辺地域全体の活力創造をここまで重視した「まちづ

くり計画(総合計画)」は例がなく、非常に画期的な試みだと言えます。

もう一つの同ビジョンにおける特徴は、「将来予想される市民にとっての“豊かさ”を追求している」という点です。札幌市では人口動態の変化が、高齢化の急速な進行に伴い、様々な支援を必要とする高齢者等が大幅に増加する、地域での付き合いや交流の減少などによって、社会と関わりが少ない市民が増加する、市内地域ごとの人口動態や年齢構成の違いなどによって地域の課題が多様化する、といった3つの課題をもたらすと想定しました。これらの課題は、決して経済の活性化だけで解決できないことです。そこで札幌市は、課題解決策として、支援を必要とする市民へのアプローチ強化、誰もが生涯現役で活躍できる環境整備、地域の特性や課題に即した組織体制の構築、などを目指すべく、「地域福祉力創造戦略」「共生社会創造戦略」「地域マネジメント創造戦略」といった各種の創造戦略を策定しました(図表4)。

3. 市民・企業も強い関心を持って行動を  
既に同ビジョンの方針は、2014年度当初予算案にも反映され、本格展開に向けて着実に前進しつつあります(図表5)。

図表4 「札幌市まちづくり戦略ビジョン」における8つの創造戦略



(注) ここで言う「地域マネジメント」とは、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるため、経営的な発想を持って市民・企業など地域の様々な活動主体の連携の下で行う主体的取組みを指す。

(出所) 札幌市「札幌市まちづくり戦略ビジョン」

図表5 同ビジョン関連の主な2014年度予算案

暮らし・コミュニティ	<b>【保育所待機児童ゼロを目指して】</b>	
	✓市立幼稚園での預かり保育の実施	(28,000千円)
	✓保育二一スコーディネート事業の通年化	(28,240千円)
	✓私立認定保育所の定員1,180人増	(2,017,000千円)
	✓幼稚園保育室及びさっぽろ保育ルームの拡充	(193,836千円)
	<b>【地域保健福祉活動の先行地区を3地区から10地区へ拡大】</b>	
	✓福祉のまち推進センター事業の拡充	(93,000千円)
	✓先行地区における障がい者相談体制の充実	(34,940千円)
	✓5歳児健康相談事業の実施	(15,300千円)
	✓重症心身障がい児(者)が利用可能な施設の拡充	(92,400千円)
産業・活力	<b>【道内連携の推進】</b>	
	✓道内1次産業者・商品と、市内事業者との橋渡し	(24,400千円)
	✓広域連携による観光振興事業	(11,238千円)
	<b>【食の海外展開やコンテンツ関連事業の戦略的推進】</b>	
	✓北海道の食のブランド力向上を促進	(6,800千円)
	✓外食産業の海外展開支援	(12,000千円)
	✓海外映像関係者との人材ネットワーク構築	(49,400千円)
	<b>【札幌国際芸術祭及びその関連事業を全庁的に展開】</b>	
	✓資料館リノベーション推進事業	(7,700千円)
	✓円山動物園で壁画アート等を実施	(8,400千円)
✓国際芸術祭の開催	(448,000千円)	
低炭素社会・エネルギー転換	<b>【都市の活性化に資する建設事業費を大幅に増加】</b>	
	2014年度1定補正予算を含む全会計の建設事業費は前年比29.7%増の1,701億円を確保。拠点のまちづくりなど、持続可能な札幌型の集約連携都市への再構築に向けた取組みに力点。	
	<b>【市民交流複合施設等、都心や駅周辺への都市機能集積】</b>	
	✓民間活力による拠点のまちづくりの検討・支援	(9,100千円)
	✓篠路駅周辺地区のまちづくりの推進	(69,000千円)
	✓路面電車ループ化工事の本格化	(2,021,000千円)
	✓(仮称)市民交流複合施設整備	(15,013,000千円)
	<b>【脱原発依存社会の実現に向けて】</b>	
	✓埋立跡地への太陽光発電設備設置に向けた調査	(10,000千円)
	✓まちづくりセンターに蓄電設備を設置	(42,000千円)
✓省エネ型冷蔵庫買い替えキャンペーン事業	(75,000千円)	
✓省エネ技術の標準化及び民間事業者の普及促進	(126,000千円)	
✓札幌にふさわしいエネルギー施策の検討	(26,500千円)	

(注) 括弧内の数値は、左記事業に関連する事業費予算額。  
 (出所) 札幌市「平成26年度予算の概要」を基に、道銀地域総合研究所作成

もっとも、同ビジョン実現のためには、行政と地域に属する市民・企業等が一体となって取り組まなければ、得られる果実が小さいと考えられます。そのためにも、まず、地域に属する市民や企業等は、社会情勢の変化がもたらす影響を真摯に受け止め、官民一体となって具体的行動に移していく必要があります。

こうした中、札幌商工会議所では「札幌版成長戦略」の策定に向けた特別委員会を立ち上げました。同ビジョンの方針や、アベノミクス第3の矢となる「成長戦略」の方針などをふまえつつ、地元企業で構成される商工会議所という特色を生かした提言や実行策が期

待されます。

一方で、個々の企業は、自社ビジネスへの影響という側面も注視すべきでしょう。人口減少、少子高齢化などといった社会情勢の変化は、行政のみならず、道内各企業の経営戦略上にも何らかの影響を及ぼすと考えられます。また、社会情勢の変化をふまえた札幌市(行政)の活動は、企業活動へ影響を与える可能性があります。

例えば、同ビジョンでは“多様な交流を支える交流拠点”を創造するため、地域の生活を支える主要な拠点としての役割を担う「地域交流拠点」を整備する方針としています。今後、「地域交流拠点」とされる地下鉄・JR駅周辺などでは、従来以上に多様な機能を集約する動きが活発になることが想定されます。そして、こうした動きは“人の流れが変わる”ことにつながり、個人を顧客対象とする小売・外食・サービス業などに属する企業からみれば、自社の売上げ増減に直結する可能性があります。また、本道及び札幌市の成長分野である食や観光産業などに関する経済政策には、海外展開・輸出、人材確保といった自社の企業経営に関連する内容が多く盛り込まれているという点にも注目すべきでしょう。

札幌市は、北海道新幹線札幌延伸の決定や、冬季オリンピック誘致の検討開始などを通じて、内外からの注目度が高まりつつあります。ただ、北海道の中心都市である札幌市が、道内の経済循環を一層高めていくための役割を果たさなければ、新幹線開通や冬季オリンピックがもたらす本道全体への経済効果は限られたものになってしまうに違いありません。道民及び道内各自治体が、札幌市の有する都市機能や情報発信機能などの活用方法を真剣に考え、自地域及び道内地域全体の活性化につなげていくという視点こそが、持続可能な本道の地域ビジョンを描くうえで、今後益々重要になってきそうです。(坂野 公紀)

## 地域トピックス

# 「<sup>コメ</sup> - 1<sup>ワン</sup>グランプリ in らんこし」開催で“米のまち”を活性化 ～ 蘭越町～



後志総合振興局管内の南西部、周囲をニセコ連峰などの山岳に囲まれた盆地に位置する蘭越町。蘭越町と言えば、多くの人が「らんこし米」を連想するほど“米のまち”として有名です。2011年から毎年開催されている米の食味を競う「米 - 1グランプリ in らんこし」には、全国から米生産農家が出品参加。良質な米づくりを全国の生産農家と切磋琢磨するとともに、米のまち・蘭越町を全国に発信するイベントとして、地域活性化にも大きく貢献しています。

### 水・土壌・昼夜の気温差に恵まれた水稻適地

蘭越町の中央を東西約30kmにわたって貫き、日本海に注いでいる「尻別川」<sup>しりべつ</sup>。国土交通省の一級河川水質ランキングにおいて1999年以降、通算12回第1位に輝いている清流です。そして、この流域に広がる肥沃な土壌、盆地特有の大きな昼夜気温差、こうした恵まれた自然環境に加えて生産者のたゆまぬ努力が、良質なブランド米「らんこし米」生産の背景となっています。米はタンパク質の含有率が低いほど美味しいとされていますが、同町産米におけるその含有率は6.8%（2008～2010年の3年間の平均値、北海道米分析センター調べ）と全道の平均値（7.3%）を大きく下回っています。銘柄ブランドとしてではなく、産地ブランド（銘柄は様々）として評価を高めてきたことも大きな特徴と言えるでしょう。

### 全国規模の食味コンテストで地域を活性化

こうした中、道外で開催された米コンテストにおいて、町内生産者の出品した米が2008年から2年連続で上位入賞（優秀賞・金賞）。これをきっかけに、生産者間でコンテスト開催機運が高まりました。町内において全国規模の米コンテストを開くことにより「地元生産者の意識改革や生産技術向上を促すとともに、全国の生産者と一体となってさらに良質な米づくりに取り組みたい」という強い思いがあったのです。2011年に第1回目のコンテスト開催にこぎつけ、昨年は第3回目の開催となりました。予選には、地元北海道から南は九州まで全国から233品が出品参加。予選審査は、全国の調理専門学校やクッキングスクールに官能審査（食べ比べにより、味・香り・食感等を総合的に評価）を依頼し、延べ400人が協力。予選審査により選出された上位30品が決勝大会に駒を進めました。11月に町内で行われた決勝大会では、食に精通する特別審査員6名に全国から公募した一般審査員を加え、計15名の審査員が官能審査を実施。昨年は栗山町の生産者（銘柄：ゆめぴりか）がグランプリを獲得しました。勿論、審査に際して、出品者・産地・銘柄などは一切明かされていません。イベント実行委員会の事務局は町役場（産業経済課）に置かれ、生産者が代表を務める実行委員のほか、農家の婦人、商工会女性部、料理サークル会員など約100名が、事前準備から決勝大会の開催運営まで行いました。町民が一丸となったこうした取り組みは、米生産技術向上のほか、全国に向けたまちの情報発信、イベント運営を通じた町民の一体感醸成などの点で、地域活性化にも大きく貢献しています。

### 環境変化を見据え「6次産業化フォーラム」を開催

今年2月25日、蘭越町は、(株)道銀地域総合研究所（以下、総研）との共催により「6次産業化フォーラム in らんこし」を町内で開催しました。農業経営を取り巻く環境が今後大きく変化していくとみられる中、総研の産業戦略部長が、6次産業化へ取り組む意義やポイント、サポート態勢等について講演。当日は、農業生産者を始め、製造・流通に関連する事業者や、行政担当者など約70名が参加し、講演終了後には質疑応答が活発に行われ、関心の高さがうかがえました。

同町では、地場一次産品の高付加価値化、農工商連携等の重要性を踏まえ、事業者による主体的な取り組みの動機付けを図るために、継続的に6次産業化や法人化などに関するセミナーの開催を計画しています。「らんこし米」をベースに、地域活力向上に向けた今後の取り組みが期待されます。

#### 【蘭越町のメモ】

総人口：5,107人（2014年2月末現在、住民基本台帳） 基幹産業：農業。農業産出額2,920百万円：うち米1,960百万円、野菜520百万円。（農林水産省、2006年生産農業所得統計）

（黒瀧 隆司）

## 2014年度の主な予定から

新年度（2014年度）の主な予定から、制度変更や、道内に関連するイベントについて、注目事項3項目を解説・紹介します。

月	日	内 容 ( 印は道内関連)
4	1	<p>・消費税率が5%から8%に引き上げ</p> <p><b>診療報酬改定、病床の機能分化、医療と介護の連携をより強化 2014年度診療報酬改定の概要</b></p> <p>2014年度は、診療報酬（医療サービスの料金や薬価の基準となる、全国一律の公定価格）が改定されます。本体・薬価・材料価格を総合した改定率はプラス0.10%。内訳を見ると、医療機関の消費税負担増に対応するため、初診料・再診料が引き上げられました（消費税対応分を除いた全体の改定率は1.26%）。ICU等の高度急性期や急性期後の回復期における病床充実など病院の機能分化や、病院の在宅復帰に向けた取り組み強化を促し、在宅医療を担う医療機関の確保と質の高い在宅医療の推進が図られています。</p> <p>高齢者人口の増加に伴い、医療と介護と住まいが繋がる地域包括ケアシステムの構築に向け、中小病院や身近な診療所の担う役割が、今後ますます大きくなると思われます。</p>
	9	<p>・Windows X Pのサポートが終了予定</p>
	26	<p><b>「五稜郭築造150年祭」開催（～2015年2月28日）</b></p> <p>五稜郭は、江戸幕府が北方防備のため幕末（1864年）に築造した星形の西洋式城郭で、国の特別史跡として、函館を代表する観光名所の一つです。この五稜郭が築造から満150年を迎えるにあたり、五稜郭地区の経済団体などで構成する「五稜郭築造150年祭実行委員会」が中心となり、各種記念行事が計画されています。主なイベントは、箱館戦争（旧幕府軍と新政府軍の戦い）の戦闘シーン再現や、幕末の衣装を着用したスタッフによる案内、記念撮影などです。2015年度末に開業予定の北海道新幹線（函館延伸）を見据え、五稜郭の魅力や函館・道南地域の歴史・文化を発信し、来函客の増加へつながることが期待されます。</p>
		 <p>写真提供：（一社）函館国際観光コンベンション協会</p>
6	12	<p>・2014 F I F A ワールドカップ ブラジル大会開幕（～7月13日）</p>
7	3	<p>○大型クルーズ客船「サン・プリンセス」が網走港に初寄港</p>
	19	<p><b>「札幌国際芸術祭」初開催（～9月28日）</b></p> <p>札幌市は、「創造都市さっぽろ」の象徴的事業として、「札幌国際芸術祭」を初開催します。この芸術祭は、札幌の美術館、公園、地下歩行区間などを舞台に、現代アートを中心とした芸術作品や音楽など、市民や観光客が身近に芸術を体験できるイベントです。ゲストディレクターには、音楽家で国際的に活躍する坂本龍一氏が就任。市民から募集した写真の展示やライブ演奏など、市民が自ら参加できるプログラムも用意されています。市は芸術祭を通し、市内に集積するクリエイティブな関連産業の振興に加え、札幌が芸術や文化の発信地として、国際的に広く認知されることを目指しており、今後は3年に一度、定期的に開催していく予定です。</p>
	26	<p>○札幌競馬場がグランドオープン</p>
10	17	<p>○日本女性会議開催（～19日、札幌市、2,000人規模）</p>
11	4	<p>・米国中間選挙</p>
3	13	<p>世界女子カーリング選手権大会、札幌で開催（～22日）</p>
時期未定		<p>・北陸新幹線の長野駅 - 金沢駅間が開業</p> <p>・リニア中央新幹線が着工</p> <p>・小惑星探査機「はやぶさ2」を打ち上げ</p>

	2014年度			2012年度
	改定率 (%)	(注1)	(注2)	
全 体	+0.10	+1.36	1.26	+0.004
1 本体	+0.73	+0.63	+0.10	+1.38
内科	+0.82	+0.71	+0.11	+1.55
歯科	+0.99	+0.87	+0.12	+1.70
調剤	+0.22	+0.18	+0.04	+0.46
2 薬価	0.58	+0.64	1.22	1.26
3 材料価格	0.05	+0.09	0.14	0.12

医科初診料：2,820円(120円値上げ)、医科再診料：720円(30円値上げ)ほか

(注1) 改定率のうち、消費税引き上げへの対応部分。  
(注2) 消費税対応分を除いた改定率。  
(出所) 厚生労働省の資料を基に道銀地域総合研究所作成

開 催 概 要	
名 称	札幌国際芸術祭2014 サイアフ Sapporo International Art Festival 2014 (SIAF 2014)
テ ー マ	「都市と自然」
サブテーマ	「自然」「都市」「経済・地域・ライフ」
開催期間	2014年7月19日(土)～9月28日(日)(72日間)
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外のアーティストによる北海道や日本の近代化をテーマとした作品を市内美術館に展示</li> <li>市民から募集した写真展や市民による演奏会を札幌駅前通地下歩行空間にて開催</li> <li>北海道、札幌ゆかりのアーティスト作品を札幌大通地下ギャラリー500m美術館にて展示</li> <li>札幌の公共空間にふさわしい音の作品を世界中から募集</li> </ul>
(出所)	創造都市さっぽろ・国際芸術祭実行委員会の資料を基に道銀地域総合研究所作成

## ソチ五輪を契機に魅力ある地域づくりへ

2014年2月7日から23日まで、ロシアで第22回冬季五輪ソチ大会が開催されました。施設の工事遅れ、直前に起きた近郊都市での爆破テロ事件などから開催が危ぶまれましたが、無事に全日程を終えました。結果を見ると、ロシアのメダル獲得数は金13個、銀11個、銅9個の合計33個と、金メダルの数、メダル獲得総数ともに、参加国中第一位でした。

### ロシアを一つにしたソチ五輪

ソチから1万km以上離れたサハリン州でも今大会の影響を強く受けました。ソチと時差が7時間あるサハリンでは、ロシアチームを応援するため、夜中の3時に起きて競技の生中継を観戦する人も多く、期間中、まちなかでは五輪の話題が絶えませんでした。サハリン州政府の観光・スポーツ・青少年政策省のイワノフ観光部長は「五輪開催後、ソチ市はインフラが整備され、ロシア人にとって非常に魅力ある観光リゾート地となった。これからは海外ではなく、国内旅行を楽しむロシア人が増えてくるだろう」と予測しています。

### サハリンへの経済効果

白地に青の文字で“sochi.ru 2014”と書かれたソチ五輪グッズは多種に及び、菓子類、衣料品、スポーツ用品などが飛ぶように売れました。また、切手や記念硬貨に加え、2008年北京五輪に次いで2例目となる記念紙幣（100ルーブル：約300円）も発行されましたが、今では殆ど手に入れることが出来ないほど貴重品になっています。

ここ2～3年の間に、ユジノサハリンスク市内では2棟の大型室内スケートリンク場が建設されました。また、サハリンで最大のスキー場（和訳名：“山の空気”）は大規模な改修工事が行われ、最新式の人工降雪機が設置されました。このため、週末には大陸方面から訪れるスキー、スノーボードを楽しむ観光客で賑わっています。

ユジノサハリンスク市のレスキン副市長によると「これらのスポーツ施設は、次回2018年に開催される平昌（ピョンチャン：韓国）五輪に向けての練習用施設として大いに利用が期待される。国土の広さから極端に時差が大きいロシアにとって、

開催国・韓国と時差が殆ど無いサハリンは、選手の体調管理には最適な環境になるだろう」とのことです。

### 文化・スポーツを中心に新たな地域づくり

最近では、ユジノサハリンスク市だけでなく、地方都市でも五輪の影響が表れています。サハリン南部の西海岸に面するトマリ市では、ロシアで非常に人気の高いバイアスロン競技が23年振りに行われました。昨年就任した観光・スポーツ・青少年政策省のサイトフ・オレグ大臣は、実は、夏季五輪（ボクシング）で金2個、銅1個を獲得したメダリスト。この影響もあってか、フィギュアスケート、スキー、アイスホッケーのアマチュア競技がたくさん行われる様になりました。人気の高いアイスホッケーでは幼稚園リーグまで結成され、5歳程度の幼児がスポーツに熱中している姿は愛らしく、感動させられます。

今回の五輪開催を契機に、今後サハリンは、観光・文化・スポーツ分野のインフラ整備により更なる発展を遂げることでしょう。そして、エネルギー産業だけでなく、文化・スポーツ分野でも世界をリードする、魅力的な地域へと変貌して行くことが期待されます。

ユジノサハリンスク駐在員事務所  
所長 三上 訓人  
スタッフ マリア・ヤロヴェンコ



スキー場（“山の空気”）に掲げられた五輪マーク

## 調査ニュース（2014・4）NO.354

発行 株式会社 北海道銀行（ホームページ<http://www.hokkaidobank.co.jp>）  
企画・編集 株式会社 道銀地域総合研究所 経済調査部  
（照会先） 〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地 道銀別館ビル  
TEL (011) 233-3561 FAX (011) 207-5220  
本誌の無断転用、転載を禁じます